

項目	内容
名称	ナリンジン、ナリンギン [英]Naringin [学名]-
概要	ナリンジンは、グレープフルーツやダイダイ、マンダリン、カボスなどの柑橘類に含まれるフラボノイド (フラバノン) で、苦味を呈する。
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <p>「専ら医薬品として使用される成分本質 (原材料) 」にも「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料) 」にも該当しない。</p> <p>■ 食品添加物</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存添加物 ナリンジン (ナリンギン) : 苦味料等 酵素処理ナリンジン (糖転移ナリンジン/ナリンジン) : 苦味料等
成分の特性・品質	
主な成分・性質	<ul style="list-style-type: none"> 分子式 : $C_{27}H_{32}O_{14}$、分子量 : 580.539 (102)。 柑橘類特有のフラバノンである (103)。
分析法	<ul style="list-style-type: none"> 柑橘果実中のナリンジンを、逆相カラムを装着したHPLCで定量した報告がある (2019044487)。 柑橘皮中のナリンジンをHPLC-PDA MSで定量した報告がある (PMID:27280933)。
有効性	

ヒ ト で の 評 価	循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。
	消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
	糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
	生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
	脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
	免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
	骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
	発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
	肥満	調べた文献の中に見当たらない。
	その他	調べた文献の中に見当たらない。

参考文献

- (30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について)
(91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS)
[\(101\) 既存添加物 食品添加物協会](#)
[\(102\) Pub Chem](#)
(103)食品大百科事典 (独)食品総合研究所編 朝倉書店
[\(PMID:11506811\) Mutat Res. 2001 Sep 1;480-481:171-8.](#)
[\(PMID:16013069\) Biopharm Drug Dispos. 2005 Oct;26\(7\):295-300.](#)
[\(PMID:16491851\) Arch Pharm Res. 2006 Jan;29\(1\):102-7.](#)
[\(PMID:16620293\) Clin Exp Pharmacol Physiol. 2006 Apr;33\(4\):310-4.](#)
[\(PMID:17009338\) Biopharm Drug Dispos. 2006 Dec;27\(9\):443-7.](#)
[\(PMID:17876860\) Biopharm Drug Dispos. 2007 Dec;28\(9\):491-500.](#)
[\(PMID:21206133\) Drug Metab Pharmacokinet. 2011;26\(2\):171-9.](#)
[\(PMID:21699081\) Pharmazie. 2011 Jun;66\(6\):424-9.](#)
[\(PMID:27280933\) Planta Med. 2016 Jul;82\(11-12\):1039-45.](#)
(2019044487) 日本食生活学会誌. 2015;26(2):71-8.